

鳥海山の魅力発信Ⅱ

育てブナ林!

校長 加藤 竜 悦

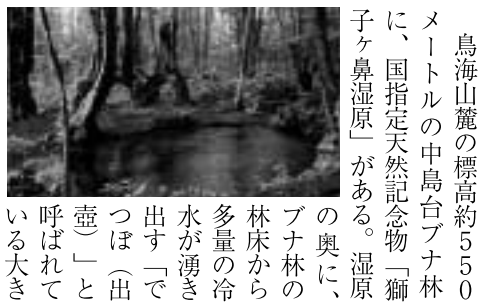


鳥海山は、中腹から山麓まで、かつては広大なブナ林に覆われていた。しかし、急速にブナ林の伐採が進み、現在では3分の1に減ったと言われている。

ブナは、ブナ科の落葉広葉樹で、樹高は30メートルにもなる。毎年秋に多量の葉を落とすので、林床には葉が分解されてできた腐葉土が厚く堆積し、雪解け水や雨水を吸収し、蓄えることができる。



ブナ林は、水を蓄える自然のダムとしての役目を持っている。また、ブナ林には、多種類の植物や動物が生息しており、多くの生物を育む森でもある。



鳥海山麓の標高約550メートルの中島台ブナ林に、国指定天然記念物「獅子ヶ鼻湿原」がある。湿原の奥に、ブナ林の林床から多量の冷水が湧き出す「出つぼ（出壺）」と呼ばれる大きな



な湧水池がある。湧水の水温は年間を通して約7度で、水質はpH4.5の酸性である。「出つぼ」や湿原内の水底には、多量のコケが球形やクッション状に密生している。地元の人たちが鳥海マリモと呼んでいるこのコケは、ヒラウロコゴケやハンデルソロイゴケなど、ヨーロッパの限られた地域に分布する貴重なコケである。

また、中島台には「あがりこ」と呼ばれる特異な形をしたブナの林がある。中でも最大の木は、樹齢300年幹回り7.6メートルで、地元では「あがりこ大王」と呼んでいる。このブナができた理由は「鳥海山の過去の噴火の影響」、「積雪の影響」、「人による影響」など諸説あるが、皆さんはどう推理するでしょうか。



中島台ブナ林と獅子ヶ鼻湿原には、現在、全国から年間5万人を超える見学者が訪れている。仁賀保高校では、平成11年から生徒が毎年、鳥海山



平成26年度総会

懐かしい顔ぶれに 終始笑顔!!

昨年10月25日(土)にホテルエクセルキクスイを会場に同窓会員・現職員・旧職員など家族連れを含めて約七十名の出席をいただき開催された。

恒例の『ファミリールンチバイキング』と題して「ケース&マサミニライプ」「YURI EMIマジックショー」も行なわれ楽しい時間を過ごした。今総会では役員改選も行なわれ佐藤会長の再任、ま

た総会の開催を毎年度から2年毎に規約改定し、合わせて27年度分の事業計画案(予算案)も理事会に一任することを決定承認された。今後は引き続き役員会を

開催しながら平成29年の創立40周年記念式典に向け、学校側と連携しながら進めていくことになる。同窓会としても40周年に向けての事業基金を上手に活用していきたいと計画している、会員の皆さん



からも広くご意見をいただきたい。

仁高教育振興会 本高の発展に意志統一



去る2月6日(金)はまなすを会場に、仁高教育振興会総会が開催された。

市内3中学校長・進路担当者を招いての学校説明会の事業報告をいただきながら、3年生の進路状況・今年度の生徒の活躍、平成29年の創立40周年を機に制服改定案など現状報告がなされた。

また、「高校統合再編計画」が6月に素案発表を予定している中、どのような

形になるか予測は出来ないが、市長・県議・商工会長など地域の各代表で組織される本会は、今後も地元の高校としてより一層、お互い情報交換をしながら本校発展のために意志統一を再確認しあつた。



情報メディア科作品紹介

前号(昨年10月発行)以降の今年度の作品を紹介します。地域貢献として年々、素晴らしい作品ができあがっています。新年度の活躍にも期待します。ぜひがんばって下さい。

このポスターは、あなたの人生を狂わせます。危険ドラッグはあなたの人生を狂わせます。NO! 錯乱 死 多くの生徒があなたを傷めます。

家族、親戚内で合言葉をつくっておきましょう!

掛魚まつり

きえかがみに

